

早生桐の実証事業をスタートします！ ～国内空港初！CO₂の新たな吸収源対策！～

成田国際空港株式会社（代表取締役社長：田村 明比古）は、株式会社ナリコー（代表取締役社長：加瀬 敏雄）と共同で、早生桐を活用したCO₂排出量削減に向けた実証事業を行います。

本事業は、成田空港周辺の約1,700㎡の傾斜地に早生桐を80本程度植樹し、成長に伴って吸収するCO₂の環境価値化及び成木の販売による収益化により、持続可能な施策とすることを目指して実証を行うもので、国内空港初の取り組みとなります。

2021年3月に成蹊大学が資源・素材学会で発表した数値によると、1本あたり、1年あたりのCO₂吸収量は42.5kgです。

今後、本実証事業を踏まえ、これまで活用できなかった傾斜地や小規模の土地をはじめとした空港周辺へのさらなる拡大を目指します。

当社では、「サステナブルNRT2050」を策定し、2050年度CO₂排出量ネットゼロに向けた取り組みを進めており、今後も脱炭素化をはじめとした持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



植樹事例（植樹後16か月）
（株式会社ナリコー提供）

早生桐とは

早生桐とは、早生樹（成長が早い樹木）の一種で、一般の桐が20～30年で成木となるところ、5年～6年で成木となる桐であり、その間の1本あたり、1年あたりのCO₂吸収量は、一般のスギやヒノキに比べて数倍と言われ、近年注目されている樹木です。



※1haあたりのCO₂吸収量（出典：国土交通省 重点調査）

2022 年 11 月 18 日

成田国際空港株式会社と共同での 早生桐を活用した CO₂ 排出量削減実証事業

株式会社ナリコー（以下「NRK」という）は、成田市の成田国際空港近接用地において、成田国際空港及び周辺地域における CO₂ 排出量削減に向けて、成田国際空港株式会社（以下「NAA」という）と共同で、早生桐を活用した実証事業に着手しました。

80 本程度の早生桐を植付け育成し、生育状況の計測、CO₂ 排出削減量（炭素固定量）の算定などを行います。

1. 早生桐（そうせいきり）とは

早生樹（早く成長する樹種）の一種で、5～6 年で成木（高さ 15m）になります。

1 本あたり 1 年あたりの CO₂ の吸収能力が高く、CO₂ 吸収量は 42.5kg/本/年です。これは、成蹊大学が 2021 年 3 月の資源素材学会で発表した数値であり、従来の杉・桧の数倍となります。

下記のとおり、従来の日本の桐と同等の性質があります。

- ・軽い（乾燥時の比重 0.3）
- ・調湿性能が高い
- ・断熱性能が高い
- ・柔らかな肌触り
- ・腐りにくい
- ・強度は杉の 6～7 割程度

従来の日本の林業木材に比べて短期のサイクルで供給可能です。

これらの性質を活かして、建築内装材、合板の材料などへの活用が期待されます。

2. 株式会社ナリコー（NRK）の早生桐に係る取組み

2020 年 5 月から、成田市及び富里市において早生桐の植付け育成を開始しました。

一企業として、成田周辺地域の環境改善、地球温暖化防止に貢献することを目的として取組みを始めました。

2020 年 12 月にナリコーグループとして SDGs 宣言を行いました。重要課題の一つとして「地球環境・地域環境の保全」を掲げ、取組方針・達成すべき目標の中に早生桐育成事業を位置づけました。

今現在、成田市及び富里市の 5 か所の圃場に、植付け後 2 年半、1 年半、半年のもの合計約 1,600 本の早生桐を育成しています。（2 年半もので平均高さ 6m、最高 8m に生育）

成蹊大学との共同研究として事業を進めており、生育状況の計測、CO₂ 排出削減量（樹木中及び土中の炭素固定量）の算定及び分析等を行っています。

（裏面に続く）

2021 年 6 月、沖縄県にナリコーファーム沖縄株式会社を設立し、早生桐苗の生産を開始しました。苗は NRK 以外の全国の団体、企業への販売も視野に入れています。

苗生産、販売、育成、成木伐採、材木販売までの一連の活動のビジネス化を目指しています。ビジネス化出来ることが、環境改善に向けての事業継続上重要であると考えています。

NPO 法人地球こどもクラブとも協力しています。

3. 今回の共同実証事業の枠組み（役割分担）

NRK は事業実施用地を NAA から提供いただき、植付け、育成、伐採、伐採木販売までを行います。CO₂ の吸収量を環境価値化し、成田空港からの排出量削減に寄与します。



直径約 70 cm、樹齢 15 年の早生桐。自社所有。この樹木から種を採取。(2021 年 12 月撮影：国内某所)



ナリコーファーム沖縄(株)での早生桐苗生産。
2022 年 5 月「ナリコー早生桐」を商標登録。
(2022 年 10 月撮影：沖縄県)



成蹊大学との共同研究。
根まで掘り取りして、細断し、実験室で固定炭素量測定。
CO₂ 吸収量推定。(2021 年 11 月撮影：成田市)



NRK の圃場、植付け後 2 年 3 ヶ月、平均高さ 5.9m
(2022 年 8 月撮影：成田市)

【本文に関するお問い合わせ先】
所在地：千葉県成田市三里塚光ケ丘 1 番地 1331
株式会社ナリコー 顧客広報管理室 担当：加瀬・城間
TEL：0476-36-4051 FAX：0476-35-5360
Mail：info@narikoh.co.jp URL：https://www.narikoh.co.jp/

